

減災技術データベース使用方法

減災技術データベースについて

この減災技術データベースは、技術のニーズとのマッチングが容易に行える環境整備を整えることを目的として、東海圏減災研究コンソーシアムの被害予測専門具会と減災技術開発専門部会が合同で作成したものである。既存の減災技術を集約し、技術を3つの対象(診断, 補強, 復旧)と11の構造種目(木造建築, 道路・鉄道, ライフライン等)で仕分け整理している。

1) ダウンロードした減災技術 DBLT.zip を解凍する。解凍すると「減災技術 DBLT」フォルダが作成される。

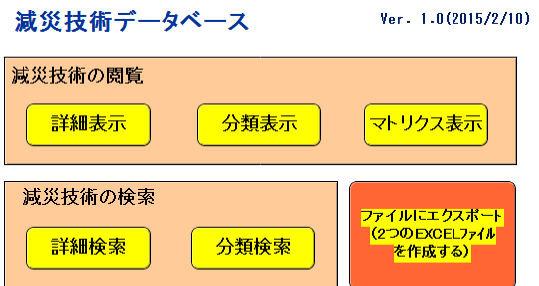
2) 減災技術 DBLT フォルダ内の減災技術 DBLT.exe を実行する。

3) File Maker のラインタイム版が起動し、右の初期画面が立ち上がる。

4) 技術の閲覧や検索を行う。

下記のボタンを押すとそれぞれの情報が表示される。

- 詳細表示** : 個別の技術の詳細閲覧
- 詳細検索** : 個別の技術の詳細検索
- 分類表示** : 分類して表示された技術の閲覧
- 分類検索** : 分類して表示された技術の検索
- マトリクス表示** : 減災技術のマトリクス表示
- ファイルにエクスポート** : 技術データのエクスポート

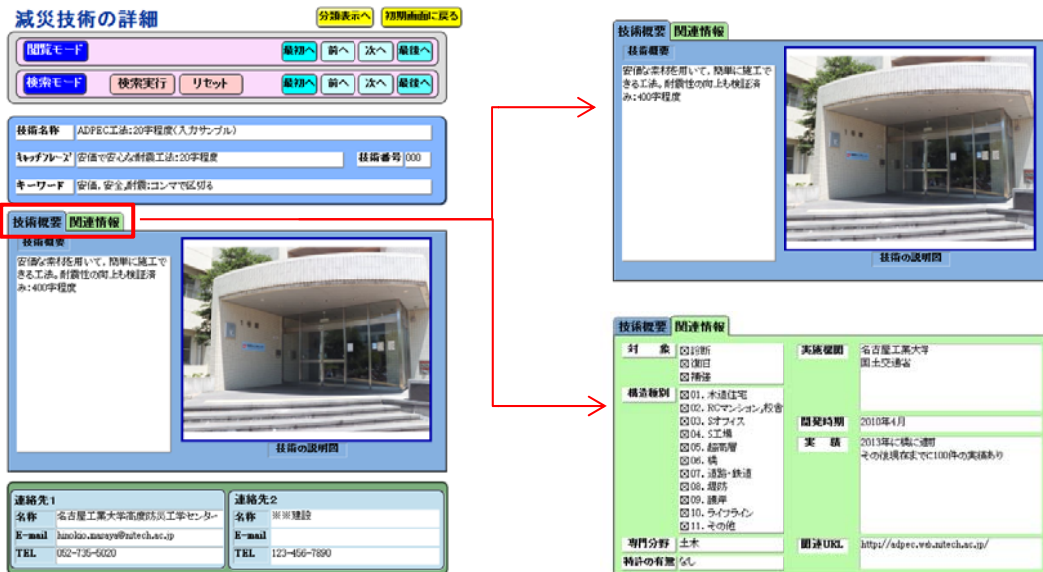


東海圏減災研究コンソーシアム
被害予測・減災技術開発専門部会

5) 技術の閲覧や検索(減災技術の詳細画面)

(a) 個別の技術の詳細閲覧および検索

初期画面から、**詳細表示** または **詳細検索** のボタンを押した場合には、下の減災技術の詳細画面に変わる。中ほどの技術概要と関連情報のタグを押すことで表示される情報が切り替わる。



閲覧モード（初期画面の **詳細表示** ボタンを押した場合、または減災技術の詳細画面で **閲覧モード** ボタンを押す）では、データベースに登録されている技術データの詳細が表示され、**最初へ** **前へ** **後へ** **最後へ** ボタンを押すことで他の技術詳細が閲覧できる。

検索モード（初期画面の **詳細検索** ボタンを押した場合、または減災技術の詳細画面で **検索モード** ボタンを押す）では、詳細画面の各項目が空欄になっており、任意の項目に検索ワードを記入し、**検索実行** ボタンを押すことで該当する技術を検索することができる。該当する技術が複数ある場合には、**最初へ** **前へ** **後へ** **最後へ** ボタンを押すことで他の該当する技術詳細を閲覧ができる。

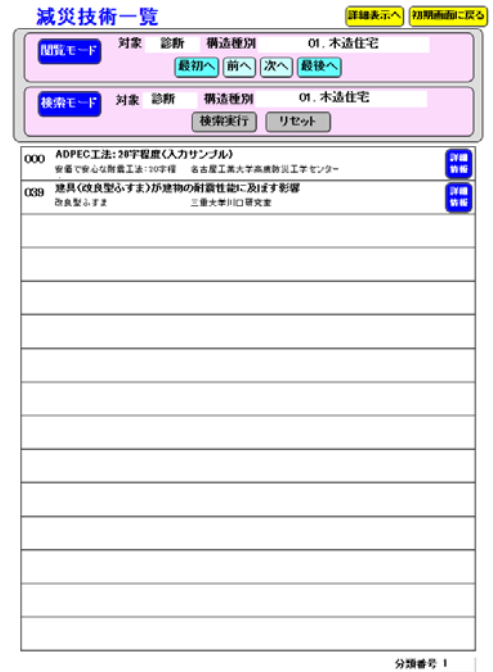
(b) 分類された技術の閲覧および検索

初期画面から、**分類表示** または **分類検索** のボタンを押した場合には、右の減災技術一覧画面に変わる。この画面では減災技術を対象と構造種別ごとに分類して表示する。

閲覧モード（初期画面の **分類表示** ボタンを押した場合、または減災技術一覧画面で **閲覧モード** ボタンを押す）では、データベースに登録されている技術が対象と構造種別ごとに分類され、該当する技術の概要が一覧表示される。他の分類の一覧を表示させる場合は **最初へ** **前へ** **後へ** **最後へ** ボタンを押すことで一覧が切り替わる。

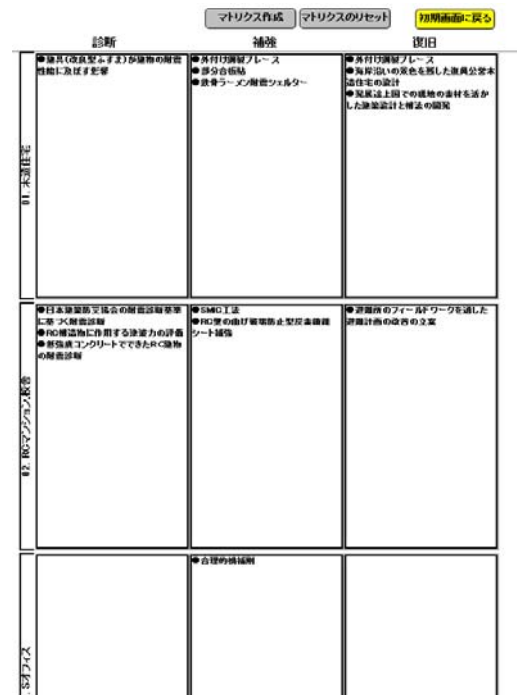
検索モード（初期画面の **分類検索** ボタンを押した場合、または減災技術一覧画面で **検索モード** ボタンを押す）では、検索したい対象と構造種別をプルダウンメニューから選択し、**検索実行** ボタンを押すことで該当する一覧を検索することができる。

また、一覧に表示された技術の右にある **詳細情報** ボタンを押すことでその技術の詳細が閲覧できる。



(c) マトリクス表示

データベースにある技術情報を横に対象、縦に構造種別をとったマトリクスとして表示する。マトリクスの情報を更新する場合は、**マトリクスのリセット** → **マトリクス作成** ボタンを押す。



6) ファイルにエクスポート

ファイルにエクスポート ボタンを押すことで、データベースにある技術のデータを EXCEL ファイルに保存することができる。保存されるデータは 2 つあり、“技術詳細.xlsx” と “技術マトリクス.xlsx” の名前で、減災技術 DB フォルダ内に作成される。

“技術詳細.xlsx” は技術詳細で表示されるすべてのデータが保存され、“技術マトリクス.xlsx” はマトリクス表示画面で表示されるマトリクスのデータが保存される。